

研究課題名	人工呼吸器管理を行った新型コロナウイルス感染症症例の挿管時データと転帰の関連の検討
研究の意義・目的	人工呼吸器管理を要するような重症例の新型コロナウイルス感染症において、患者様の基本情報や検査データと、開始した治療薬に関するデータを収集し、治療成果との関連を検討します。当院では多くの重症例の新型コロナウイルス感染症の患者様を見ておりますので、この検討が特に重症の患者様への治療の検討や転帰の予測につながると考えています。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日～2023年10月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2020年4月～2022年3月の間に大阪公立大学医学部附属病院（当院）に入院となった、人工呼吸器管理を要する新型コロナウイルス感染症の患者様
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 患者基本情報（年齢、性別、既往歴、喫煙歴、ワクチン接種歴）</li> <li>② 挿管日のSequential organ failure assessment (SOFA) スコア ※ ※ SOFAスコアとは肺や心臓、中枢神経系、肝臓、腎臓、血液凝固系という6臓器における臓器障害を簡便に点数化して合計したもので、高い点数であるほど臓器障害度が強いことを意味します。</li> <li>③ 挿管日の血液検査（eGFR、HbA1c、血清リン値）</li> <li>④ 投与薬剤（ステロイド製剤、レムデシビル、トシリズマブ、バリシチニブ、抗血栓薬）</li> <li>⑤ 患者の転帰（生存死亡、人工呼吸器の離脱の可否）</li> </ul>
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院救命救急センターのみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院救命救急センターのみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 救急医学 研究責任者 出口 亮
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 救急医学講座 （担当者氏名）出口 亮 電話番号：(06) 6645-3987 メールアドレス：rdegu92@gmail.com